



1. 概況

全体の景況感（全29店舗）

	好転	不変	悪化
前月と比較して	0	28	1
今後3か月程度の見通し	2	25	2

【漁業】

銚子港の平成23年10月の総水揚数量は22,656トンで前年同月比+15,422トンとなった。総水揚金額は3,317百万円で前年同月比+1,683百万円の増加となった。イワシ・サバ・サンマは、前年同月比水揚数量は増加し、水揚金額も大幅に増加した。また、前月比については総水揚数量+15,803トンと増加し、総水揚金額も+1,778百万円と増加した。原発事故発生後は、放射能の検査を定期的実施しており、「食の安全」対策に万全を期している。

【農業】

銚子地区では、主要農産物であるキャベツ・ダイコンの出荷が開始された。各地区とも台風の影響は軽微でキャベツが1箱（10kg）600円～1,000円、ダイコンについては1箱（10kg）800円～1,000円程度で取引された。夏場の高温・乾燥により出遅れた前年を、上回るペースの出荷が続く見込みで、今後価格は下落が予想される。

【商業】

個人消費については、冬の節電対策としてウォームビズ等の冬物商品の需要やお歳暮等の年末特需が期待されるも、依然として先行きは不透明である。

また、震災以降は業況の低迷に拍車がかかっており、今後も急激な好転は見込が薄く、経営者の高齢化が進み後継者問題も浮彫り化している。

【建設業】

平成23年9月の公共機関からの受注工事（1件500万円以上の工事）は、千葉県で30,105百万円（前年同月比▲48,059百万円）、茨城県は18,276百万円（前年同月比▲6,990百万円）となった。また前月（8月）と対比して千葉県は+7,114百万円、茨城県は+6,592百万円となった。

【観光業】

銚子・旭地区では震災復興をスローガンに「産業まつり」が開催された。地元農水産物の特産品販売、キャラクターショー、各種ステージ発表等、催しは多彩であり大盛況であった。

<業種別天気図>

全 体	漁 業	水産加工業	農 業	商 業
建 設 業	観 光 業	不 動 産 業	養 豚 業	自 動 車

（前月と比較した当月の各業種の景況感を天気図で表示してみました。）



## 2. 主要業種別動向

### ■ 漁業・水産加工業

銚子港の平成23年10月の総水揚数量は22,656トンで前年同月比+15,422トンとなった。総水揚金額は3,317百万円で前年同月比+1,683百万円の増加となった。イワシ・サバ・サンマは、前年同月比水揚数量は増加し、水揚金額も大幅に増加した。また、前月比については総水揚数量+15,803トンと増加し、総水揚金額も+1,778百万円と増加した。原発事故発生後は、放射能の検査を定期的の実施しており、「食の安全」対策に万全を期している。

波崎港では、船団の大半が漁場を八戸に移しているため、サバが中心で一部近海でマイワシ・アジ・イナダの操業となる。稼働日数15日、総水揚数量5,768トンで総水揚金額540百万円、対前月比、水揚数量は+1,868トン増加、水揚金額は+180百万円増加した。

勝浦港では、総水揚数量は447トンで総水揚金額263百万円となった。前年同月比ではカツオ、マグロ類で、総水揚数量・金額ともに大幅に増加した。前月対比では、総水揚数量+209トン、総水揚金額+144百万円と数量・金額ともに増加した。

大原港では、水揚げ日本一を誇るイセエビ漁が解禁されているが、昨年より不漁で型も小さく価格相場は浜値で5,000円台/kg程度で推移している。

水産加工業については、サンマ、サバ、マイワシ等前浜での水揚げは順調で、冷蔵庫業者を中心に活況を帯びている。販売価格は値上げ基調であるが、比例して原価上昇もあり収益環境の改善は見受けられない。

## 銚子魚市場水揚高

銚子市漁業協同組合調べ

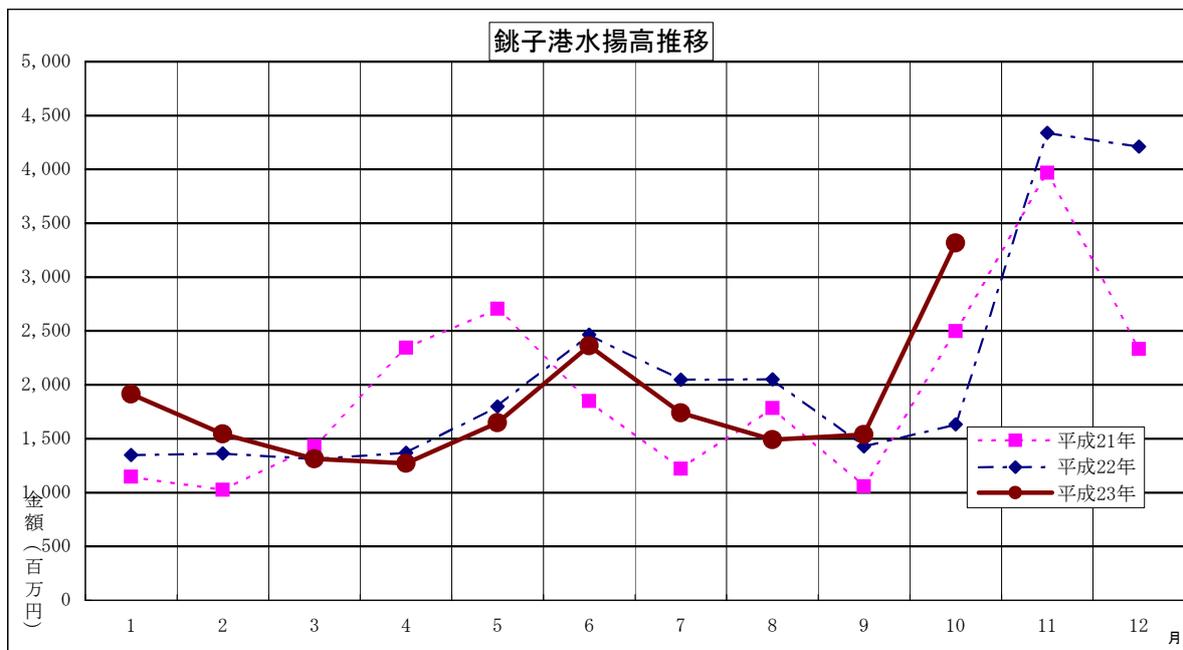
種類	区分	数量 (トン)			金額 (千円)		
		H23年10月	H22年10月	前年同月比	H23年10月	H22年10月	前年同月比
鰯		2,940	612	2,328	206,387	79,673	126,714
鯖		6,883	2,682	4,201	715,407	318,444	396,963
鰹		827	716	111	102,336	120,323	▲ 17,987
鰹・鮪		1,403	744	659	888,925	584,405	304,520
(内鰹一本釣)		0	0	0	0	0	0
秋刀魚		10,053	2,137	7,916	1,166,564	314,138	852,426
底曳		333	158	175	87,132	66,582	20,550
その他		217	185	32	150,479	150,548	▲ 69
合計		22,656	7,234	15,422	3,317,230	1,634,113	1,683,117

前月比	数量	330.60%
	金額	215.54%
前年同月比	数量	313.19%
	金額	203.00%

## 水揚日数



	H23年10月	H23年9月	H22年10月
鰯	5日	5日	5日
鯖	7日	6日	17日
鰹	7日	5日	11日
鰹・鮪	9日	18日	22日
(内鰹一本釣)	0日	0日	0日
秋刀魚	16日	6日	11日
底曳	23日	16日	18日
その他	25日	24日	25日



## ■ 農 業

銚子地区では、主要農産物であるキャベツ・ダイコンの出荷が開始された。各地区とも台風の影響は軽微でキャベツが1箱（10k g）600円～1,000円、ダイコンについては1箱（10k g）800円～1,000円程度で取引された。夏場の高温・乾燥により出遅れた前年を、上回るペースの出荷が続く見込みで、今後価格は下落が予想される。

波崎地区のピーマン出荷量は、前年並みで、価格は前年同月対比▲10円程度値を下げ取引された。前月対比では、前月並みの1袋（150g）あたり50円程度で取引された。

旭地区のキュウリ・トマトの価格相場はキュウリが1本（等級 秀）10円～40円程度、トマトは1箱（4Kg）300円～1,200円程度で取引された。前月と比較してキュウリは▲15円程度値を下げ、トマトは黄化葉巻（伝染病）が収束し数量的にも纏まり価格は大幅に値を下げ取引された。

海上地区のマッシュルームは、1パック（100g）100円前後と前月と変化なく前年同月と比較しても同水準の価格で取引されており、安定した価格で推移している。

飯岡地区は、10月下旬より早いところでキャベツ、ダイコンの収穫が始まっている。先月高値を付けていた、パセリ（200g、25束）が2,000円、春菊（170g、20束）が2,000円と値下がりした。

## ■ 商 業

個人消費については、冬の節電対策としてウォームビズ等の冬物商品の需要やお歳暮等の年末特需が期待されるも、依然として先行きは不透明である。

また、震災以降は業況の低迷に拍車がかかっており、今後も急激な好転は見込が薄く、経営者の高齢化が進み後継者問題も浮彫り化している。

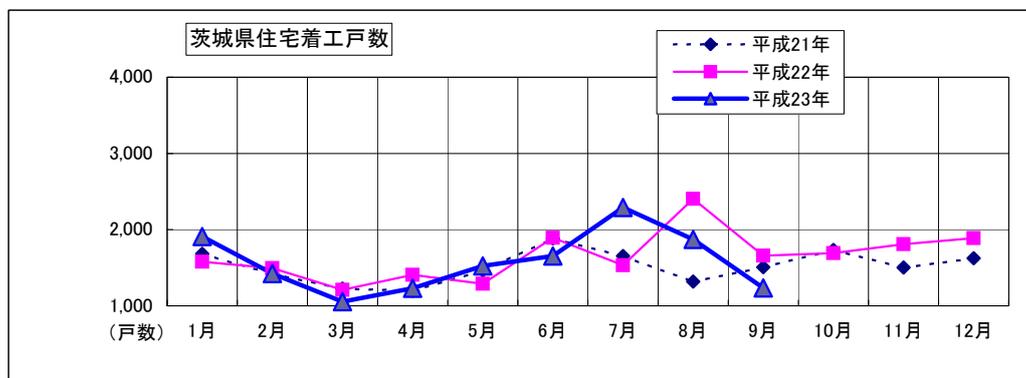
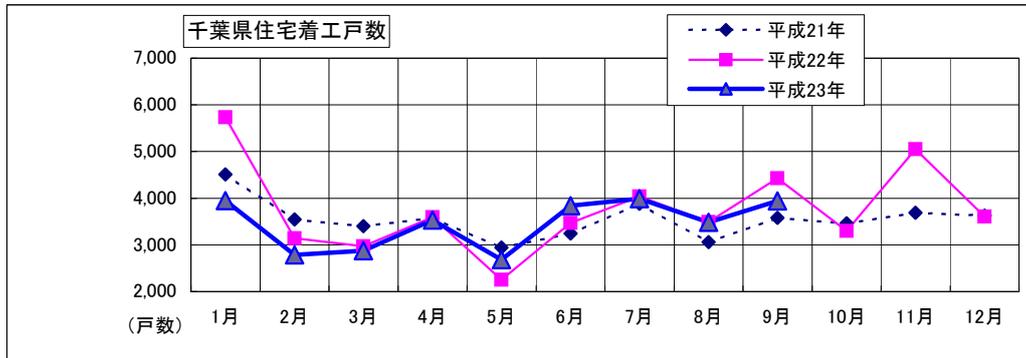
銚子地区においては、旧十字屋銚子店跡に商業施設「てうし横丁」の建設が進んでいる。しかし、業者への入居説明会後もテナントがすべて契約するには至らず、オープンは来年3月に延期となった。

情報アドバイス  
銚子商工会議所

## ■ 建設業

千葉県・茨城県の住宅着工戸数は以下のとおり。

	前月戸数	前々月戸数	増減
千葉県	3,943	3,485	458
茨城県	1,234	1,870	▲ 636



平成23年9月の公共機関からの受注工事(1件500万円以上の工事)は、千葉県で30,105百万円(前年同月比▲48,059百万円)、茨城県は18,276百万円(前年同月比▲6,990百万円)となった。また前月(8月)と対比して千葉県は+7,114百万円、茨城県は+6,592百万円となった。

公共機関からの受注工事は、千葉県では、政府関連企業等からの受注が減少し前年同月を下回り、茨城県では、市区町村からの受注が減少となり前年同月を下回る結果となった。

平成23年9月の住宅着工戸数は、千葉県では3,943戸と前年同月比▲11.0%(▲488戸)の減少となった。茨城県については、1,234戸で▲25.5%(▲422戸)と減少した。なお、前月(8月)対比については、千葉県で+458件の増加、茨城県では▲636件の減少となった。

国土交通省統計情報より

## ■ 観光業

銚子・旭地区では震災復興をスローガンに「産業まつり」が開催された。地元農水産物の特産品販売、キャラクターショー、各種ステージ発表等、催しは多彩であり大盛況であった。

大多喜地区では、震災後の停滞から持直している。日帰り客は前年程度に回復し、宿泊の状況も前年近くまで戻しており、11月以降の紅葉シーズンに期待が持てる。

飯岡地区の釣り船は、マダイ、ヒラメの釣果は良好であり客足は戻っているが、前年同月と比較するとまだ減少している。

情報アドバイス  
銚子商工会議所

## ■ 不動産業

千葉地区では、依然として不動産購入希望者は全般的に駅周辺の物件に集中しており、品薄状態が続いている。

千葉市中央区宮崎町に、3区画の分譲販売を行っており1区画36～40坪程度、1,630万円～1,800万円で販売している。

## ■ 養豚業・畜産業

平成23年10月の東京市場での鶏卵と豚枝肉の卸売価格相場は、鶏卵（Mサイズ）の卸売価格は平均186円/kgで前月比+3円/kgと値上がりした。前年同月比については▲11円/kgと値を下げた。

豚枝肉の卸売価格相場は、362円/kgで前月比▲88円/kgと値下がりした。前年同月比については▲70円/kgと値を下げた。

## ■ 自動車ディーラー

平成23年10月の千葉県新車登録台数は11,223台で、前年同月対比118.71%（+1,769台）の増加となり、2ヶ月連続で前年同月台数を上回った。また、前月対比では77.73%（▲3,216台）と大幅な減少となった。

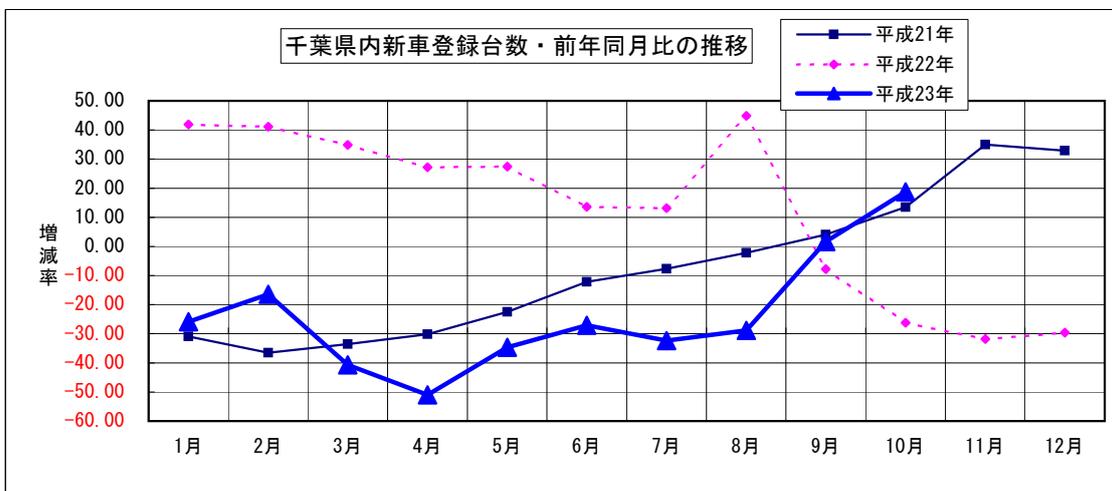
車種市場別の登録台数状況を見ると、乗用車市場全体では9,894台の登録台数で前年同月対比117.07%（+1,443台）の増加となった。また、貨物車市場は1,125台の登録台数で前年同月対比144.42%（+346台）の増加となった。

占拠率はトヨタが47.0%と高水準を確保しており、次いで2位は、3ヶ月振りにホンダ（18.3%）となり、日産（16.9%）は3位に後退した。

千葉県内新車登録台数状況（軽自動車を除く）

		当月	前月	前月比	前年同月	前年比
乗用	普通	4,888	6,341	77.09%	4,390	111.34%
	小型	5,006	6,307	79.37%	4,061	123.27%
	小計	9,894	12,648	78.23%	8,451	117.07%
貨物	普通	382	617	61.91%	189	202.12%
	小型	743	850	87.41%	590	125.93%
	小計	1,125	1,467	76.69%	779	144.42%
特殊等	特殊	187	296	63.18%	193	96.89%
	バス	17	28	60.71%	31	54.84%
	小計	204	324	62.96%	224	91.07%
総合計		11,223	14,439	77.73%	9,454	118.71%

社)日本自動車販売協会連合会 千葉県支部調べ



情報アドバイス  
千葉トヨタ自動車(株)

### 3. その他の動向

#### 求人

##### 有効求人倍率

(単位：倍、増減はポイント)

	前月	前々月	増減	前年同月	増減
銚子公共職業安定所管内	0.60	0.59	0.01	0.64	▲ 0.04
茂原公共職業安定所管内	0.52	0.52	0.00	0.44	0.08
いすみ公共職業安定所管内	0.53	0.55	▲ 0.02	0.59	▲ 0.06
成田公共職業安定所管内	0.60	0.54	0.06	0.58	0.02
佐原公共職業安定所管内	0.47	0.36	0.11	0.42	0.05
千葉県	0.55	0.51	0.04	0.47	0.08
常陸鹿嶋公共職業安定所管内	0.74	0.62	0.12	0.53	0.21
茨城県	0.68	0.67	0.01	0.51	0.17

有効求人倍率＝有効求人数÷有効求職者数

ハローワーク銚子/茂原/いすみ/成田/佐原/常陸鹿嶋調べ

#### 電力

##### 電力使用量

(単位：千kwh)

	前月	前年同月	増減
東京電力成田支社管内総電力使用量	416,348	476,970	▲ 60,622

東京電力㈱成田支社調べ

#### 倒産

平成23年(2011年)10月の負債総額1000万円以上を有する千葉県内企業倒産件数は25件で、前月比で9件の減少となった。また、前年同月比では11件の減少であった。

負債総額は79億7800万円で、前月比41億9300万円の増加となり前年同月比では6億4000万円の増加となった。10月の負債総額10億円以上の大型倒産は2件であった。

千葉県内におけるサプライチェーン問題などは徐々に改善され、平常時まで戻りつつあるが、福島原発から端を発している放射能問題が未だに取り残されている。

円高推移の為替相場についても、今後の不安材料と言える。円高の進行は日本経済の低迷に繋がりがねず、大手得意先を有する県内企業にとっては、得意先よりコスト削減の煽りを被る可能性が高い。

また、海外からの輸出品を扱っている企業でも、為替リスクの対策で過去に講じていた通貨オプションによって、逆に為替差損が発生している企業も見られており、円高進行は企業収益を圧迫させる大きな不安材料の一つと成り得る。

震災前の政府施策であった「景気対応緊急保証制度」「金融円滑化法」と震災後の開始された「災害関連保証制度」の浸透で、県内企業の資金手当ての目処がある程度ついたこともあり、突然死するような企業倒産は減少している。市中に資金が出回ること、今のところ企業倒産は落ち着きを見せているが、売上そのものが向上する環境は進んでおらず、円高等の懸念材料も含まれており、次の各企業の資金需要が高まる12月、来年3月の動向が注目される。

倒産会社の従業員数は197名で前月比32名の増加となった。

産業別では「建設業」が6件と多く、次いで「小売業」が5件となった。負債総額では「農・林・漁・鉱業」が16億3700万円と多く、次いで「建設業」が12億5000万円と続いた。

原因別では、「業績不振」によるものが19件(構成比76.0%)と多く、次いで「他社倒産の余波」が3件(構成比12.0%)となった。

(東京商工リサーチ・千葉県内企業倒産状況より)

本誌作成にあたってのデータ参照先

銚子市漁業協同組合  
銚子商工会議所  
株式会社 東京商工リサーチ  
国土交通省 統計情報  
社) 日本自動車販売協会連合会 千葉県支部  
千葉トヨタ自動車 株式会社  
ハローワーク銚子  
ハローワーク茂原  
ハローワークいすみ  
ハローワーク成田  
ハローワーク佐原  
ハローワーク常陸鹿嶋  
東京電力 株式会社 成田支社  
(順不同)  
※ その他掲載データは当金庫独自の調査によるものです。

発行 ; 銚子信用金庫  
編集 ; 営業推進部  
住所 ; 〒288-8686 銚子市双葉町5-5  
電話 ; 0479-25-2121  
FAX ; 0479-24-4591  
E-mail ; eisui@choshi-shinkin.co.jp  
URL ; <http://www.choshi-shinkin.co.jp>

## ちょうしんきん ビジネス知恵袋のご案内

「取引先事業所の成長・発展」を目的に、経営コンサルティング企業の㈱タナベ経営とタイアップし、みなさまのビジネスを支える多彩な情報をインターネットを通じてご提供するサービスです。

【年会費】 17,850円 (うち消費税850円)

【ご入会】 当金庫取引の有無は問いません。入会申込書は、お近くのちょうしんきん窓口またはご担当の営業担当者におたずねください。

### 経営情報レポート

業種別・機能別・経営テーマ別に分類。  
改善事例や経営ノウハウなど総数2,000種類の経営情報をご提供。

### 法律アドバイスネット

法律に関するQ&A4,000種類。申請書・申告書記載例300件、根拠条文も閲覧可能。

### ネット経営相談

企業経営に関するアドバイスネット。FAQを50件掲載。  
あらゆる経営のお悩みをご相談ください。専門コンサルタント、法律・税務の専門家がメールでアドバイスいたします。

### レポート・ネット

毎月配信するリーダーズ・レポートと地域版コンサル・レポートをご覧いただけます。

その他のコンテンツを含めて、全16の充実したコンテンツが満載！  
みなさまのお申込みをお待ちしています。